

1952年 熊本県生まれ。

熊本県天草市の光蓮寺の次男として生まれ、
1983年に岐阜県大垣市の廣專寺に養子
として入寺されました。現在は同寺住職の
かたわら、東本願寺修練道場において後進の
育成、指導をされております。



岐阜県 廣專寺 住職
近藤 龍磨
こんどう たつまろ
『ライブイン・浄土の真宗
「縁尊し』』
8月19日(土)

先生はご自身の法務や生活を通して、親鸞
聖人の教えや歩みをざっくりと語って下さいます。また大学時代から続けて
おられるギターを持って、演奏を織り交ぜ
ながらご法話されるのも印象的です。皆さんと
共に先生が作る独特的な空気感を味わい、ご法
話を聴聞したいと思います。



大谷大学学長
木越 康
きこし やすし
「善導独明仏正意」
8月20日(日)

1963年サンフランシスコ生まれ。
大谷大学28代目学長。大谷大学で受けた
先生の授業の中に、忘れない言葉があります。それは、「真宗のお寺に生まれたから
真宗バンザイではダメなんだ」という言葉です。何気なく入学した自分にとって、この言葉が
その後の歩みを直すきっかけとなりました。今回、先生の言葉に自分の歩みを直すご
縁を、みなさまと共にいたければと思いま
す。

【著書】『ボランティアは親鸞の教えに反する
のか』(法藏館)

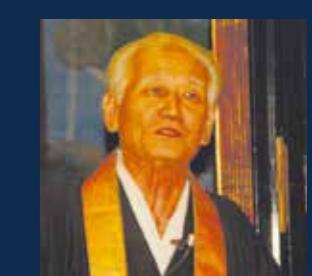
元帶広大谷短期大学学長
中川 皓三郎
なかがわ こうざぶろう
「浄土真宗」
8月30日(水)



1943年大阪府生まれ。
中川先生は今年74歳になります。私とは40歳差、
法然上人と親鸞聖人と同じ年の差です。何故生き
ているのか、何のために生きているのか、焦り諦
めそうになる私に、そんな先生は「僕も最近にな
ってようやくわかつてきたようなことがある」と
と言っています。
先生から頂いた「お前も死ぬぞ」「いのちみな
生きらるべし」という書を目にする度、先生も
きっと「生きる」ということを課題とされ続けて
こられたのだと思います。
今の先生の言葉を「聞く」の場で聞くこと。今の私
の生きる力となっています。

【著書】『いのちみな生きらるべし』(東本願寺)『ほ
んとうに生きるということ』(東本願寺)

福岡県 徳蓮寺 前住職
伊藤 元
いとう はじめ
「教えてもらってくれる道」
8月29日(火)



1935年福岡県生まれ。

御歳 80才を超えた今も第一線で活躍する
先生。「浄土真宗」という仏道は師友にあつことから、
はじまる仏道という大きな道のりを歩む
私達は、共に歩む仲間や先生にお会いすることを
喜き出遇いによってその道のりが開かれていく
という先生の言葉に頷かれます。昨年度の「聞」で
初めてお越し頂いて2度目の講演の場になります。
反響も多く、またお会いしたいという声も聞こえて
きました。今回も心に響く聞法の場となることを
楽しみにしています。

第五十三回 夏季公開仏教講座

月

7月

9日(日) 午後6時50分~8時30分まで
講座時間
聴講券
全12講座・30000円 一日券・800円 未成年者無料
会場 金沢東別院 真宗会館ホール

*聴講券は、金沢教務所、金沢別院、各寺院 教会にて取り扱っております。

*聴講券は開催中も、受付にてお買い求めいただけます。

瓜生 崇

10日(月) 藤原 正寿

19日(水) 木村 泰子

20日(木) 栖雲 深泥

29日(土) 鶴見 晃

30日(日) マイケルコンウェイ

8月 9日(水) 木多 雅人

10日(木) 木村 宣彰

19日(土) 近藤 龍磨

20日(日) 木越 康

29日(火) 伊藤 元

30日(水) 中川 皓三郎

福岡県 徳蓮寺 前住職
元帶広大谷短期大学学長

「問い合わせ」金沢教務所 076-265-5191

「教えてもらってすくわれる道」

「善導独明仏正意」

「淨土真宗」

「親鸞聖人の教え「安心して迷うことができる生活」」

「この身のすくい」

「ライブイン・浄土の真宗「縁尊し」」

「善導独明仏正意」

「淨土真宗」

「あなたに居場所はありますか?」

「みんながつくるみんなの学校~いつもいつしがあたりまえ~」

「真宗(親鸞聖人)に出遇つて」

「証知生死即涅槃」

「本願との出遇い」

「親鸞聖人の教え「安心して迷うことができる生活」」

「この身のすくい」

「教えてもらってすくわれる道」

【場所】

金沢東別院 金沢市安江町 15-52

※金沢東別院工事のため、駐車場に限りがあります。あらかじめご了承ください。

講師紹介

講師紹介

大谷大学文学部
専任講師(真宗学)

Michael J. Conway

マイケル・コンウェイ

「本願との出遇い」

7月30日(日)



1976年アメリカ合衆国イリノイ州生まれ。

マイケル先生は一方では七高僧のお一人道綽、

他方では近代教学の研究を進めていらっしゃい

ます。実は先生とは専攻が違つたこともあり仏教の

お話をしたことがほとんどありません。いつも休憩

時間に先生の研究室にお邪魔して美味しいお菓子を

御馳走になつていてことばかりが思い出されます。

印象的なことは、先生の披露宴で日系アメリカ人の方のが、「キリスト教における大切なつながりは神と人間の契約関係です。けれども仏教の大重要なつながりは、インドラの網といつて多くのものとつながって私たちが存在していることです」と祝辞を述べられたことです。アメリカで真宗に出遇われたマイケル先生に、金沢でお話をしていたところを、ぜひみなさんと一緒に頂きたいと思います。

富山县 報土寺 住職
鈴木大拙館館長

木村 宣彰

きむら せんしょう

「この身のすくい」

8月10日(木)



1943年富山县生まれ。

先生は中国仏教を専門とされ、現在は鈴木大拙館の館長をなさっています。

ある先輩の結婚式で、先生は祝辞として「牡丹花は咲き定まりて 静かなり 花の占めたる

位置の確かさ」と木下理玄の歌をよまれました。

高砂台にいらっしゃる新郎新婦お二人を牡丹にたとえて、かつそれぞれの人間が懸命に生きる姿を牡丹にたとえていらっしゃったことが印象に残っております。生きることを何かにたとえることは、哲学的な思索です。

みなさんとともに、木村先生のお話を頂戴したいと思います。

大谷大学文学部
専任講師(真宗学)

Michael J. Conway

マイケル・コンウェイ

「本願との出遇い」

7月30日(日)



1976年アメリカ合衆国イリノイ州生まれ。

マイケル先生は一方では七高僧のお一人道綽、

他方では近代教学の研究を進めていらっしゃい

ます。実は先生とは専攻が違つたこともあり仏教の

お話をしたことがほとんどありません。いつも休憩

時間に先生の研究室にお邪魔して美味しいお菓子を

御馳走になつていてことばかりが思い出されます。

印象的なことは、先生の披露宴で日系アメリカ人の開教師の方が、「キリスト教における大切なつながりは神と人間の契約関係です。けれども仏教の大重要なつながりは、インドラの網といつて多くのものとつながって私たちが存在していることです」と祝辞を述べられたことです。アメリカで真宗に出遇われたマイケル先生に、金沢でお話をしていたところを、ぜひみなさんと一緒に頂きたいと思います。

静岡県 善正寺
教学研究所所員

鶴見 晃

「証知生死即涅槃」

7月29日(土)



1971年静岡県生まれ。

昨年の夏季公開仏教講座「聞」において、「どのように読んできたのか」という先生の言葉に、私自身の問い合わせをいただきました。毎日、お経を読んでいるだけになってしまっていたのではないか、どのように受けとめているのかという確かめがなかつたのではないかと感じました。

現在、真宗教化センターしんらん交流館内の

教学研究所所員として尽力されております

先生の出遇いや学びを通したお話を、本年も是非お聞きしたいと思います。

大谷大学准教授

藤原 正寿

ふじはら まさとし

「あなたに居場所はありますか?」

7月10日(月)



1963年石川県生まれ。

聞法するということは、「自分にとつて都合のよいものを手に入れ、身につけるために聞くのではなく、日常生活の中で本当に依りどころとすべきものを見失つて、むしろ依りどころとすべきではないものを依りどころとしているのではないか」ということをはつきりさせる、問い合わせという意味を持つのではないでしようか」とおっしゃっていました。

私たち一人一人が聞法によって自身を問いかけるということは、日頃忙しい生活の中で、自分の姿勢を見つめ直すきっかけをあたえてくれるのだと思います。今回の「聞」が自分を問い直す場になればと思います。

【著書】『キリストンが見た真宗』(東本願寺)

滋賀県 玄照寺 住職
日本脱カルト協会理事

瓜生 崇

うりう たかし

「浄土をもう一度娑婆における」

7月9日(日)



1974年 東京都生まれ。

05年に脱会。現在は真宗大谷派の住職として、自身の経験を元にカルト問題対策に取り組んでおられます。「『私』が歩んでいく仏道、その道は誰も代わってくれない道であり、法話とは聞く人と話す人が一緒に仏道を歩む場所です。」先生の人生の求道を通した言葉からは、共に仏道を歩まんとする思いが力強く感じられます。今年も先生と共に「私」の仏道を皆さんと歩んでいなければと思います。

【著書】『さよなら親鸞会』、同書kindle版(サンガ伝道叢書刊行会)



大阪府出身

大阪市立大空小学校初代校長

木村 泰子

きむら やすこ

「みんながつくる みんなの学校
~いつもいつしがあたりまえ~」

7月19日(水)

先生は、大阪市立大空小学校初代校長として、「みんながつくる みんなの学校」を合い言葉に、子ども・教職員・保護者・地域のみんなが「育ち合う教育」を具現化されました。その様子はドキュメンタリー映画「みんなの学校」で生き生きと表現されています。様々な立場や世代を超えて、「育ち合う教育」の根本にある先生の「人間を敬い、尊重する姿勢」に私たちのあり方を学びたいと思います。

【著書】『みんなの学校』が教えてくれたこと(小学館)『みんなの学校』流自ら学ぶこの育てられること(小学館)『21世紀を生きる力』(水王舎)
【著書】『現代社会における浄土真宗』(共著/自照社出版)『人間の時代~異質との共存~』(樹洩陽舎)

樹洩陽舎(こもれびしゃ)舎幹

栖雲 深泥

すくも じんいで

「真宗(親鸞聖人)に出遇って」

7月20日(木)



1945年山口県生まれ。

私たちは教えを聞くといつても、ついうつかり自分のことを抜きにして、他人事のように聞いてしまうことがあります。それは、ご法話をされることが多いです。

しかし、栖雲先生は、決して自分を抜きにはされません。教えを通して出遇つた人間の悲しみ、人間の悲しみを通して出遇つた教えの喜びを、誰のことでもない自分自身のこととしてお話し

されます。

自分自身に出遇うために、皆さんと一緒にご聴聞させていただきたいと思います。

【著書】『現代社会における浄土真宗』(共著/自照社出版)『人間の時代~異質との共存~』(樹洩陽舎)

1971年富山県生まれ。

私は以前、先生のお話しの中で苦悩の大切さ、ということを伺いました。苦悩し行き詰まつたところではじめて親鸞聖人の言葉に出遇い、うなづかされるということの大切さをです。先生は「迷いや苦しみがなくなるのではなく、また自己が消えてなくなるわけでもありません。如来に遭遇するというのは、自分でない感覚を破つて安心して迷い悩むことができる道が開かれること、つまり苦悩が生きる力に転換されることなのです。如来に遭遇するということは本当の自分に出遇うということと別ではありません」と説かれます。「聞」での聴聞が、苦悩する自分を否定せず、その苦悩と共に歩むひとつのきっかけになつてくれれば、と思います。と思います。

みなさんとともに、木村先生のお話を頂戴したいと思います。